

## 3月から水稻育苗作業が始まります。 基本に立ち返り、作業内容を確認しましょう!!

長期3ヶ月予報によりますと、3・4月ともに東北太平洋側では平年と同様に晴れの日が多いと予想されています。春に向かって水稻の育苗や田植えの準備をそろそろ始める時期となりました。



### ◎品種

- 品種ごとにシートパック(網袋)の色を区分し異品種混入にならないように管理して下さい。

### ◎種子消毒(薬剤防除) モミガードC水和剤・テクリードCフロアブル

- ばか苗病、苗立枯病、いもち病などへの対策として種子の薬剤消毒を行いましょう。

### ◎種子の浸漬

- 種籾に十分吸水させ、発芽揃いをよくしましょう。

### ポイント!

- ◎水量は、種籾1kgに対して1.8ℓを目安にする。
- ◎浸漬開始から24時間は、水温10℃以上確保する。15℃以上になるとばか苗病が発生しやすくなります。

※浸漬温度が低い場合、発芽揃いが低下するおそれがあります。

### 注意!

- ◎温湯消毒種籾の場合、水の入替えを2日に1回は必ず行う。(雑菌繁殖予防)
- ◎薬剤消毒種籾の場合、薬剤効果を下げないため、浸漬をはじめてから3～4日間は水の入替えを行わない。
- ◎温湯消毒種籾と薬剤消毒種籾の水づけは別々の容器で行いましょう。

### ◎資材消毒

- 育苗期間中の病害の被害を最小限にするため、「イチバン」で育苗箱等の消毒を行って下さい。  
希釈倍率………500～1,000倍

### ◎温湯消毒済みの種子保管・管理

- 温湯消毒は細心の注意を払い作業を行っておりますが、生産者の皆様におかれましても配送後の「保管・管理」の徹底をお願いします。  
配送後、浸漬まで期間がある場合は、シートパックに入れたまま風通しのよい所に吊るして下さい。
- 保管中は、汚れたシートやむしろ等に触れないように管理して下さい。2段重ねやビニールで等で囲うと温度が上がり、カビが発生する場合がありますので、絶対に行わないで下さい。

### ばか苗病対策

温湯消毒処理を行った種籾から育苗期間中にばか苗病の発生がみられます。保管中・浸漬・催芽・育苗期間中に条件が揃えば、ばか苗病が発生してしまいます。発生が懸念される場合は、補完防除として微生物農薬(タフブロック)の防除を行って下さい。



射手座  
(11.23～12.21)

【全体連】努力が認められるなど、うれしい出来事が期待できます。リーダー役に抜きざされやすいので、意欲的に引き受けて【健康連】体力過剰気味、疲労解消を怠らないこと【幸運の食べ物】サヨリ



山羊座  
(12.22～1.19)

【全体連】思うようにならないことが多くなる気配。特に家族など、身近な人たちから干渉されがち。感情的にならないで【健康連】健康食品に凝り過ぎ。ほどほどがベスト【幸運の食べ物】ヒシキ